

# OZONE XXライト インプレッション

レポート 齋藤雅一

パラグライダーをある程度経験している方なら、誰もが興味のあるシングルサーフェイス（一枚翼）のオゾンXXライト（ダブルエックスライト）のインプレッションをお届けしたいと思う。

難しい言い方をしなければ、下面がないパラグライダーなのだ。

過去に水面下で数社のメーカーが研究はした？のかもしれないが、製品化できなかつた夢のパラグライダーが遂にオゾンから発売された。

今まで翼の揚力は、上面と下面の流速の差から揚力が...、とか、グライダーの剛性を上げるためのテンションテープが...とか、ラム圧が高いから潰れにくい、などのウンチクが通用しないパラグライダーが登場してしまったのだ。

フライトする前から色々考えてしまう。潰れたらどうしよう、揚力とはニュートンの運動第三法則の作用反作用！？ 投影面積で13.9㎡しかないし。など...



ここで、今回乗ったデモ機の16サイズの重量をお伝えしたい。

機体重量は、なんと1.2kg!!!

なんと我々の持っているエマパラより軽いのだ！

（超軽量を除く）そして私が今使っている比較的軽いノートパソコンよりもさらに軽いのである！

キャノピーが入っている袋を渡された時点では、これで飛べるとは全く思えないしろものなのだ。

16サイズの投影面積は13.9㎡しかなく、スピードパラやアクログライダーほど。

バテンで補強されたリーディングエッジはあるがエアインテークはなし。

ライザーは、ダイニーマ製の非常に細い2本タイプでアクセル無し。

全てが今までのパラでは通用しないスペックなのだ。

ちなみに今回フライトした16サイズの飛行重量は65~95kgで、キャノピーが1.2kgで計算すると私の飛行重量は67kg。下限そこそこのフライトだ。



テイクオフは微風でもまったく問題ない。ライズアップは、今まで経験したことがないほど軽くズバツと上がる。かぶってくるので思わずブレークを深くあてた。

オゾン、リアライザーでコントロールすると良いと言っているがまだ試してはいない。

風が少し強めだと、私の飛行重量だとテイクオフで加速しずらく思えたので本来はもう少し思い方がよいのだろう。

見上げたキャノピーは、当然非常に小さく心もとないが低速でも揚力が強く発生し難くテイクオフ！



このサイズで下面がないにもかかわらず、揚力がしっかりと発生することに不思議という違和感を覚えるほどだ。

ブレークテンションはスカスカなのだと思っていたがトレーリングエッジのセンター部がポケット状になっているからなのか、ほどよい重さがあつてさほど違和感なし。

スピードは、下限で乗っているせいもあるが30km/h位。(もう少し重く乗ればよかった)



ターンの特性は、ターン初期に少しバンクが戻る動きがあるが思ったよりも違和感なし。

ライン長が短いせいもあるが、ピッチ、ロールともに動きの周期は早めなのに最初は慣れが必要だが少し経験のあるパイロットならばすぐにモノに出来る範囲だ。サーマルでの挙動は通常のパラほどサーマルをガシッとつかむ感覚は少ないが、サーマル内でも安定しており一定のバンクを維持してセンタリングできる。

かなり荒れたコンディションだったので、翼端がたまにペラッと潰れるような動きをしたが全体が不安定になりそうな雰囲気はなし。

深いピッチングやローリングを行ってもキャノピーがフニャフニャしないのには驚いた。

2本ライザーなので、翼端折りが出来ないかと思ったが、手を伸ばしてAライン外側を直接引き込んでみると見事に折ることができた。

折った部分はバサバサと大きな音をたてて、少し不安定な様子。

効果手段としては、スパイラルのほうがおすすめ。

片翼を50%位潰した（潰れるというより折れるイメージ）がいきよよく回復し、少し振られる程度で危ない雰囲気はなし。

ブレークのストロークはサイズが小さいせいもあるが短め。

おへそあたりから挙動が怪しくなりスーと失速しはじめる。ブレークを戻すとラインが短い為かなりの勢いでかぶってくる。

オゾンからフルストールは動きが速いという情報を得ていたので行わず。

通常のパラよりはブレークレンジが狭いが普通の飛び方をしている分には全く問題ないと思った。

スパイラルはこのサイズの通常のパラだと激しい沈下とスピードで恐ろしいほどだがXXライトだとロールの入りが深すぎず思ったよりも沈下が少なく加速せず思い通りコントロールできた。むき出しのリブと、トレーリングエッジのポケットが程よいドラッグとなってバランスが取れているのだろう。

ランディング時のフレアーは、腰まで引くと早い段階で失速してフワッと降りられない。おへそ辺りまでのストロークで行うと良さそうだ。

ぶっ飛びコンディションで、最新EN-Aのモジョ4と比較テストを行った。

ちなみにモジョ4の性能は数年前のDHV1-2に近い性能なのでさすがにかなわないのは分かっていたが、XXライトの性能が意外と悪くないので驚いた。

このXXライトを所有している人は、翼が袋に入っている状態から人気者になれて、キャノピーを広げるだけで人気者になれ、テイクオフするだけで人気者になれ、さらにソアリングしたら英雄になれるに違いない。



最後に、

このXXライトでフライトすることは、冒険フライトのような印象があるかもしれないがごく普通に飛ぶことが出来る軽量パラだと思って良いだろう。

ブレークのストロークとライズアップの特性以外、フライト中の動きはおとなしいと感じた。

パイロット証をもっていれば誰にでもお勧めという訳にはいかないだろうが、乗っていて笑顔になってしまうソアリングするだけで楽しくなってしまうパラなのであった。